

千葉県議会議員

いわさき明子の 市民のめ!



発行：市民ネットワークちば
わかば事務所
TEL 043-284-2339

新聞 2019.8月

「ひきこもり」一人で悩まないで

「8050問題」をご存知ですか？80代の親が50代の子どもの生活を支えるという意味で、その背景にあるのは子どもの「ひきこもり」です。ひきこもりと言えは、当初は若者の問題とされてきましたが、当時の若者が40～50代、親が70～80代となり、社会的に孤立したり、生活が立ち行かなくなるケースが増えています。

市民ネットワークで8月20日に開催した学習会。千葉市のひきこもり支援の現状と課題について、「ひきこもり地域支援センター」という専門の相談窓口を運営している方から、お話を聞きました。



ひきこもり地域支援センターの平田智子さん。

センターで大切にしているのは、生きづらさを感じている当事者の思いに寄り添うこと。相談者の年齢層は10～50代以上と幅広く、ひきこもってしまったきっかけは学校や職場、家庭の問題など様々ですが、誰もが「その人なり」の形で社会参加できる方法を、一緒に考えてくれます。「本人の力を奪わない進め方を心がけています」と講師の平田さん。社会参加への同行や、居場所づくり、家族セミナー等も行っています。悩んでいる方、まずはお電話を！（岩崎明子）

千葉県ひきこもり地域支援センター 美浜区高浜 2-1-16

Tel 043-204-1606 (月～金 9～17時)